

平成24年度 防除こよみ

- 富山市農業協同組合
- 富山農林振興センター
- 富山市農協地区農業技術者協議会

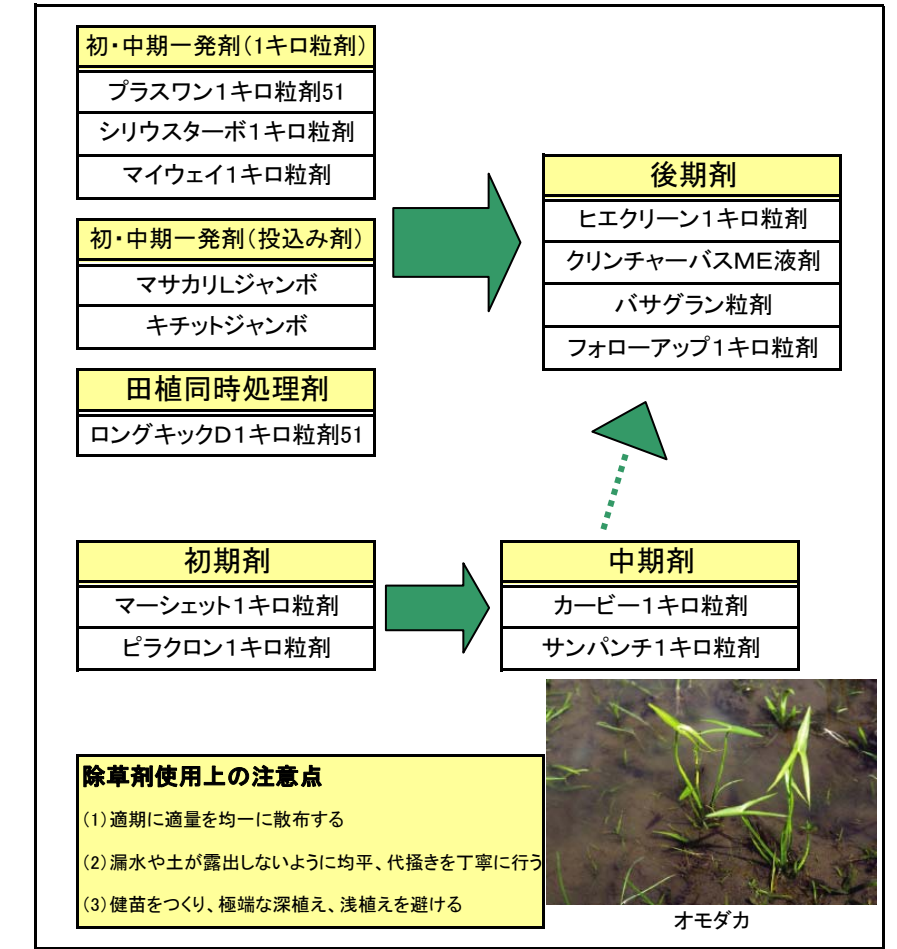
【本田防除体系】

	4月			5月			6月			7月			8月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
粉剤体系	早生	育苗期防除			播種同時 又は 移植時			イネカッブ			モンカット	ラテラ	モンラフ	ゲットワン	スタークル	
	中生	モミガードC水和剤			ルーチンアドスピノ			イネカッブ			モンラフ	ゲットワン	スタークル			
粒剤体系	早生	イネカッブ			箱粒剤			フジワ			トゲシラホシカメムシ					
	中生	タチガレエース液剤 タチガレエース粉剤 ダコレート水和剤			安全・安心な米づくり			フジワ			アサジカスミカメ					

安全・安心な米づくり

- (1) 農薬の使用時期・使用回数・散布量・濃度等の使用基準を遵守する
- (2) 栽培日誌の記帳をする
- (3) 農薬が河川等流れないように十分注意する
- (4) 農薬の保管・管理は厳重に行う
- (5) 農薬散布時の農薬中毒事故を防止する

【水稻除草体系】 (農薬名は農協の推奨品目です) (農薬の登録は平成23年12月現在です)



育苗防除

防除時期	対象病害虫	農薬名	使用方法	施用日
育苗器材の消毒	育苗雑菌	イネカッブ	・500倍液(水1500lにイネカッブ300ccを溶かす)に瞬間浸漬する	
種子の消毒	もみ枯細菌病 苗立枯細菌病 褐条病 ばか苗病 いもち病	モミガードC水和剤	・種籾をモミガードC水和剤200倍液に24時間浸漬する ・種子袋に種籾は五分目程度入れる ・消毒中に2~3回薬液を攪拌する ・浸漬時に最初の3日間は水交換しない	
播種時又は発芽後	苗立枯病	タチガレエース液剤	・1箱当たり500倍液を500cc灌注(タチガレエース1本100ccで100箱分)	
置床防除	ピシウム菌	タチガレエース粉剤	・m当たり50gを置床表土に混和	
播種時から緑化期	リゾープス菌 トリコデルマ菌	ダコレート水和剤	・1000倍液を1箱あたり12灌注	

大豆防除

防除時期	対象病害虫	農薬名	散布量	特徴・使い方	安全使用基準(収穫前日数)	施用日
種子消毒	紫斑病・タネバエ・ネキリムシ アサジカスミカメシ・茎疫病	クルーザーMAXX	0.8%塗沫	・乾燥種子1kg当り原液8ml塗沫		
種子消毒	紫斑病 タネバエ	キヒゲンR-2フロアブル	2%塗沫	・乾燥種子1kg当り原液20ml塗沫		
播種直後	畑地1年生雑草	トレファンサイド粒剤2.5	4kg/10a	・播種直後、均一散布 ・砕土を十分に行う		
播種直後	畑地1年生雑草	ラクサー粒剤	4kg/10a	・播種後出芽前		
7月下旬	ウコンメイガ	サイアノックス粉剤	4kg/10a	・幼虫の食害をみたら早めに防除		7日
8月10日頃	紫斑病 カメムシ類	スミチオンベルコート粉剤DL	3kg/10a	・大豆病害虫総合防除		21日
8月20日頃	紫斑病 カメムシ類	マネージレボン粉剤DL	4kg/10a	・大豆病害虫総合防除		30日
雑草生育初期	畑地1年生雑草 イネ科を除く	大豆バサグラン液剤	1000l/10a	・大豆の2葉期~開花期 ・薬剤100~150ml/10a		45日
雑草生育期	1年生イネ科雑草	ポルトフロアブル	1000l/10a	・イネ科雑草10葉期まで ・薬剤200~300ml/10a		30日

水稻苗箱防除

防除時期	対象病害虫	農薬名	散布量(10a当り)	特徴・使い方	安全使用基準(収穫前日数)	施用日
4月 播種同時	いもち病 白葉枯病 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ウンカ類	ルーチンアドスピノ箱粒剤	50g/箱	・播種時に散布することで省力化	播種時覆土前	
5月 移植時	ツマグロヨコバイ イネツトムシ ニカメイチュウ			・定量を均一に散布	田植2日前~田植当日	

水稻本田防除(粉剤)

防除時期	対象病害虫	農薬名	散布量(10a当り)	特徴・使い方	安全使用基準(収穫前日数)	施用日
7月~	いもち病 稲こじ病	ラテラ粉剤DL	4kg	・葉いもち病の随時防除 ・稲こじ病にも効果あり	14日	
随時防除	紋枯病	モンカットファイン粉剤20DL	4kg	・発病初期に株元にかかると効果あり	14日	
穂ばらみ期	穂いもち病 紋枯病	モンラフ粉剤DL	4kg	・前年紋枯病発生田には必ず散布	14日	
穂揃期	穂いもち病 ウンカ・カメムシ類	ゲットワン粉剤DL	4kg	・総合防除剤 ・トゲシラホシカメムシに効果大	穂揃期まで	
傾穂期	ウンカ・カメムシ類	スタークル粉剤DL	3kg	・低毒性殺虫剤	7日	

水稻本田防除(粒剤)

防除時期	対象病害虫	農薬名	散布量(10a当り)	特徴・使い方	安全使用基準(収穫前日数)	施用日
7月	穂いもち病 ニカメイチュウ ウンカ類 カメムシ類	フジワラップ粒剤	4kg	・出穂10~15日前が適期	30日	

水稻除草剤

種類	農薬名	使用方法	施用日
初期剤	マーシット1キロ粒剤	・原則、中期剤・一発処理剤と体系で使用。田植後3~5日まで	
	ピラクロン1キロ粒剤	・田植同時散布できる初期剤	
田植時	ロングキックD1キロ粒剤51	・田植同時 ・田植直後からノビエ2.5葉まで	
初・中期一発剤	プラスワン1キロ粒剤51	・田植後5日からノビエ2.5葉まで、早めに散布する	
	シリウスターボ1キロ粒剤	・田植後5日からノビエ2.5葉まで、葉・表層剥離に効果あり	
投込み剤	マイウェイ1キロ粒剤	・田植後3日からノビエ3.0葉まで	
	マサカリLジャンボ	・10パック(500g)/10a ・田植後5日からノビエ2.5葉まで	
中期剤	キチットジャンボ	・10パック(400g)/10a ・田植後5日からノビエ2.5葉まで	
	カービー1キロ粒剤	・田植後20日から30日、ノビエ3.0葉まで ・ノビエ+多年生雑草 1kg/10a	
後期剤	サンパンチ1キロ粒剤	・田植後15日からノビエ3.5葉まで ・ノビエ+多年生雑草 収穫60日前まで 1kg/10a	
	ヒエクリーン1キロ粒剤	・ノビエ専用剤 田植後15日からノビエ4葉まで有効 ・収穫45日前まで 1kg/10a	
	クリンチャーパスME液剤	・ノビエ+多年生雑草 田植後15日からノビエ5葉まで ・1000ml/10a 落水散布 収穫50日前まで	
	バサグラン粒剤	・多年生雑草が対象。落水散布で3~4日間入水しない ・田植後15日~50日 収穫60日前まで 3~4kg/10a	
	フォローアップ1キロ粒剤	・ノビエ+多年生雑草 田植後25日からノビエ5葉まで ・収穫60日前まで 1kg/10a	

非農耕地用除草剤

農薬名	特徴・使用方法	散布量(1a当り)
ラウンドアップマックスロード 三共の草枯らし	・葉から吸収し根まで枯らす ・効果が出るまで1~2週間かかる	100倍(水100lに100cc)
バスタ液剤	・即効性で残効もある	200倍(水100lに50cc)
ブリグロックスL液剤	・接触型で、雑草が速やかに枯れる	100倍(水100lに100cc)